



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 ニッパン(日発販売株式会社)

コード番号 7563 URL <http://www.nippan-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々木 孝

TEL 03-5690-3005

四半期報告書提出予定日 平成22年10月29日

配当支払開始予定日

平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	18,147	17.1	426	—	429	—	250	398.8
22年3月期第2四半期	15,499	△25.1	△20	—	△24	—	50	△60.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	11.25	—
22年3月期第2四半期	2.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	19,837	6,457	32.5	290.13
22年3月期	20,125	6,318	31.4	283.87

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 6,457百万円 22年3月期 6,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
23年3月期	—	3.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,200	9.5	1,010	108.9	980	108.4	540	21.4	24.26

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社 (社名)、 除外 一社 (社名)
 (注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	22,800,000株	22年3月期	22,800,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	544,069株	22年3月期	542,899株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	22,256,351株	22年3月期2Q	22,259,077株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における国内経済は、中国をはじめとしたアジア向け輸出の増加や政府の経済対策により緩やかな回復基調で推移しましたが、雇用環境は依然厳しく、個人消費の回復も鈍いうえ、金融不安に端を発する円高は予測を上回る水準となり企業業績への影響が懸念されるなど、先行きの不透明感を払拭できない状況が続きました。

当社グループが主力におきます自動車業界においても政府による販売支援策の効果や輸出の回復に支えられて堅調に推移しましたが、エコカー補助金の終了などによる新車販売台数の失速が懸念されております。

このようななか、オートパーツ事業では、国内経済の回復による貨物輸送の需要増から特に大型車の新車架装部品や交換部品の販売が好調に推移しました。プレジジョンパーツ事業では自動車生産台数の増加により、特にハイブリッド車向け部品を中心に好調に推移しました。またIT事業においては、企業の設備・情報投資の回復局面が続いたことにより増収となりました。

その結果、当第2四半期累計期間の連結売上高は18,147百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益426百万円（前年同期営業損失20百万円）、経常利益429百万円（前年同期経常損失24百万円）、四半期純利益250百万円（前年同期比398.8%増）となりました。

セグメント別の営業概況は、次のとおりであります。

[オートパーツ事業]

補修用ばね・サブタンクなどの大型車部品や自社ブランドであるグリーン商品の売上が増加し、連結売上高は6,674百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は121百万円（前年同期比937.6%増）となりました。

[プレジジョンパーツ事業]

精密ばね、ファスナー類、インジェクタ部品などの精密加工部品の売上が増加し、連結売上高は10,164百万円（前年同期比20.5%増）、営業利益は306百万円（前年同期営業損失3百万円）となりました。

[IT事業]

加工品、機材設備や情報関連の商品の売上が増加しましたが、事業の黒字化には届かず、連結売上高は1,308百万円（前年同期比62.6%増）、営業損失は1百万円（前年同期営業損失28百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,837百万円となり、前連結会計年度末に比べ287百万円減少いたしました。

流動資産は、13,804百万円となりました。

固定資産は、6,033百万円となり、288百万円減少いたしました。これは、主として繰延税金資産が89百万円、投資有価証券が74百万円減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は13,380百万円となり、前連結会計年度末に比べ426百万円減少いたしました。

流動負債は、12,887百万円となり、515百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が410百万円増加した一方で、短期借入金が800百万円減少したことなどによります。

固定負債は、493百万円となり、88百万円増加いたしました。これは、主として退職給付引当金が63百万円増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は6,457百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円増加いたしました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が28百万円減少した一方で、利益剰余金が183百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末と比べ13百万円減少し、1,182百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、1,054百万円となり、前年同四半期と比べ1,480百万円増加いたしました。これは、主として売上債権の増減額が1,207百万円増加したことなどによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、43百万円となり前年同四半期と比べ30百万円減少いたしました。これは、主として関係会社株式の売却による収入が80百万円増加した一方で、有形固定資産の売却による収入が62百万円減少、有形固定資産の取得による支出が29百万円増加したことなどによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、924百万円となり前年同四半期と比べ1,118百万円減少いたしました。これは、主として短期借入金の純増減額が1,091百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては平成22年5月14日公表時から変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより営業利益、経常利益がそれぞれ0百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が23百万円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,182,585	1,015,612
受取手形及び売掛金	7,915,325	8,376,345
商品及び製品	2,816,248	2,539,613
その他のたな卸資産	30,080	22,677
未収入金	1,552,742	1,526,941
繰延税金資産	212,837	197,216
その他	107,627	139,079
貸倒引当金	△13,295	△13,801
流動資産合計	13,804,153	13,803,683
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,446,005	1,480,029
土地	3,048,649	3,054,149
その他(純額)	368,554	433,044
有形固定資産合計	4,863,208	4,967,223
無形固定資産	27,589	30,162
投資その他の資産		
投資有価証券	666,438	740,571
長期貸付金	156,909	172,556
繰延税金資産	26,584	115,625
その他	327,531	327,266
貸倒引当金	△34,823	△31,622
投資その他の資産合計	1,142,639	1,324,396
固定資産合計	6,033,438	6,321,782
資産合計	19,837,591	20,125,466
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,991,150	8,581,072
短期借入金	2,830,185	3,630,423
リース債務	75,959	105,160
未払法人税等	235,225	270,168
役員賞与引当金	16,995	23,891
その他	737,858	792,489
流動負債合計	12,887,375	13,403,204
固定負債		
リース債務	66,746	91,720
退職給付引当金	130,864	67,454
役員退職慰労引当金	251,524	226,272
資産除去債務	27,219	—
負ののれん	16,789	18,764
固定負債合計	493,143	404,211
負債合計	13,380,519	13,807,415

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,040,345	2,040,345
資本剰余金	1,251,391	1,251,391
利益剰余金	3,287,943	3,104,411
自己株式	△151,178	△150,910
株主資本合計	6,428,502	6,245,238
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	106,489	134,791
繰延ヘッジ損益	△7,606	—
為替換算調整勘定	△70,313	△61,979
評価・換算差額等合計	28,568	72,812
純資産合計	6,457,071	6,318,051
負債純資産合計	19,837,591	20,125,466

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	15,499,388	18,147,761
売上原価	12,597,114	14,762,755
売上総利益	2,902,273	3,385,005
販売費及び一般管理費	2,922,637	2,958,218
営業利益又は営業損失(△)	△20,364	426,787
営業外収益		
受取利息	2,542	2,371
受取配当金	3,891	9,735
仕入割引	15,332	20,420
その他	15,814	15,455
営業外収益合計	37,581	47,982
営業外費用		
支払利息	17,085	14,242
手形売却損	9,653	10,063
売上割引	7,091	7,260
その他	8,053	13,934
営業外費用合計	41,883	45,500
経常利益又は経常損失(△)	△24,666	429,269
特別利益		
固定資産売却益	130,445	—
貸倒引当金戻入額	770	—
関係会社株式売却益	—	50,304
特別利益合計	131,215	50,304
特別損失		
固定資産除却損	1,182	147
減損損失	—	15,165
会員権売却損	190	—
会員権評価損	—	1,050
投資有価証券売却損	7,101	—
投資有価証券評価損	—	6,702
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	23,247
特別損失合計	8,474	46,313
税金等調整前四半期純利益	98,074	433,260
法人税、住民税及び事業税	36,495	89,247
法人税等調整額	24,529	93,710
法人税等合計	61,024	182,957
少数株主損益調整前四半期純利益	—	250,303
少数株主損失(△)	△13,130	—
四半期純利益	50,180	250,303

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	98,074	433,260
持分法による投資損益(△は益)	△568	△640
減価償却費	133,098	147,149
負ののれん償却額	—	△1,975
減損損失	—	15,165
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,370	2,694
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,238	△6,896
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,975	63,409
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	18,230	25,252
受取利息及び受取配当金	△6,434	△12,106
支払利息	17,085	14,242
投資有価証券評価損益(△は益)	—	6,702
有形固定資産売却損益(△は益)	△130,445	—
有形固定資産除却損	1,182	147
投資有価証券売却損益(△は益)	7,101	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△50,304
会員権評価損	—	1,050
会員権売却損益(△は益)	190	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	23,247
売上債権の増減額(△は増加)	△746,634	461,019
たな卸資産の増減額(△は増加)	68,729	△284,038
仕入債務の増減額(△は減少)	298,658	425,078
未払消費税等の増減額(△は減少)	27,236	△69,570
未収入金の増減額(△は増加)	△70,766	△25,800
その他の資産の増減額(△は増加)	△30,444	11,869
その他の負債の増減額(△は減少)	△29,254	△8,543
小計	△371,591	1,170,413
利息及び配当金の受取額	5,267	10,997
利息の支払額	△17,089	△14,262
法人税等の支払額	△42,123	△112,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	△425,537	1,054,958
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,806	△46,788
有形固定資産の売却による収入	62,268	—
投資有価証券の取得による支出	△6,931	△7,139
投資有価証券の売却による収入	20,511	—
関係会社株式の売却による収入	—	80,661
貸付けによる支出	△680	—
貸付金の回収による収入	15,667	16,693
会員権の売却による収入	759	—
無形固定資産の取得による支出	△543	△66
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,246	43,359

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	291,163	△800,237
自己株式の取得による支出	△348	△268
リース債務の返済による支出	△29,995	△57,266
配当金の支払額	△66,781	△66,771
財務活動によるキャッシュ・フロー	194,037	△924,544
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,449	△6,799
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△150,804	166,973
現金及び現金同等物の期首残高	1,346,997	1,015,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,196,193	1,182,585

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	オートパーツ 事業 (千円)	プレジジョン パーツ事業 (千円)	I T事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,257,680	8,436,756	804,950	15,499,388	—	15,499,388
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	6,257,680	8,436,756	804,950	15,499,388	(—)	15,499,388
営業利益又は営業損失(△)	11,754	△3,317	△28,801	△20,364	—	△20,364

(注) 1 事業区分は、商品の種類及び販売経路の共通性を考慮しております。

2 事業区分の主要商品

事業区分	主要商品
オートパーツ事業	補機用ベルト、タイミングベルト、テンショナーベアリング、エレメント、ワイパーブレード、等速ジョイント、オイルシール、ウォーターポンプ、樹脂ブーツ、燃料タンク、ホイール、マフラー、ブレーキパーツ、ライト・ランプ、建機部品、電装商品、ケミカル類、タイヤチェーン、補修用ばね、モータースポーツ用サスペンション
プレジジョンパーツ事業	インジェクター用部品、精密プレス品、コントロールケーブル、切削品、冷間鍛造品、精密ばね、メカニカルパーツ、ロックヒンジ、ワンタッチバンド、ねじ、ナット、クランプ、金属資材
IT事業	光ファイバーアッセンブリー用部品、光通信デバイス用精密加工品、プラスチック光ファイバー端面加工器、コンピュータ周辺機器、セキュリティ商品・サービス、画像関連機器、ネットワーク関連機器・ソフトウェア、機械装置、測定機器、環境処理装置

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車用部品用品及び産業用機器・部品等の製造販売を主な事業内容としており、自動車用部品用品及び自動車用ばねの販売はオートパーツ事業が、産業用機器・部品等の販売はプレシジョンパーツ事業が、情報関連、加工関連、機材設備関連の販売はIT事業が、それぞれ行っております。

従って、当社グループの構成単位は、販売体制を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「オートパーツ事業」、「プレシジョンパーツ事業」、「IT事業」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

	報告セグメント				調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)
	オートパーツ 事業 (千円)	プレシジョン パーツ事業 (千円)	IT事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	6,674,635	10,164,199	1,308,927	18,147,761	—	18,147,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,674,635	10,164,199	1,308,927	18,147,761	—	18,147,761
セグメント利益 又は損失(△)	121,958	306,338	△1,509	426,787	—	426,787

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オートパーツ事業」セグメントにおいて遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は当第2四半期連結累計期間において15百万円であります。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。